

投資者の皆様へ

2022年10月11日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

10月11日の弊社ファンド(雪だるま(中国A株))の基準価額下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

以下のファンドの基準価額が10月11日に大きく下落しましたので、その要因等についてご報告申し上げます。

1.基準価額及び騰落率(10月11日)

ファンド名称	基準価額	前営業日比	騰落率
SBI・中国A株インデックス・ファンド(愛称:雪だるま(中国A株))	10,132 円	▲631 円	▲5.9%

2.基準価額下落の主な要因及び今後の見通し

本レポートに記載のファンドに関する下落要因及び今後の見通しは以下の通りです。

当ファンドの基準価額に影響がありましたのは10月10日の香港・中国市場となります。中国市場は国慶節の連休明け初日でした。国慶節前後に様々な悪材料が見られました。例として、バイデン政権が対中輸出規制強化策を発表したこと(輸出規制強化策:軍事転用を阻む目的でスーパーコンピューターやAIなどに必要な先端半導体及び特定の半導体製造装置を中国向けに輸出する際、米商務省の許可が必要になるというもの)から、米AMDや韓国サムスン電子など、世界的に半導体需要の減退が意識されている中で、同政策により、韓国や台湾企業の中国工場にも影響を与える可能性が意識されました。民間デベロッパー大手の旭輝が債券元本・利払いのリスクを要請し、不動産危機への警戒感が高まる展開になりました。国慶節中の旅行者数は前年同期比18.2%減となりました。国慶節中の重点対象地域の新築住宅販売面積が前年同期比33%減となりました。16日開幕の共産党大会を控えるなか、規制強化への懸念が強まりました。さらに、世界の株式市場に大きな影響を与える米国市場は、7日に堅調な9月雇用統計発表を受けて、米連邦準備制度理事会(FRB)が金融引き締めを積極化すると懸念が強まり、大きく下落していました。

10日は、上海総合指数は、▲1.7%、香港ハンセン指数は▲3%、となりました。こうした悪相場のなか、当ファンドは、投資対象の香港上場ETF(中国A株投資)の需給要因もあり、▲5.9%下落しました。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

今後の動向に関して、中国では、8月の消費者物価指数(CPI)が予想(+2.8%)を下回る+2.5%となるなど、インフレ鈍化の兆しが見られております。また、中国人民銀行は、金融緩和を続けております。一方、景況感を示す9月のGaixin製造業購買担当者指数(PMI)は48.1と、景気の拡大・縮小の節目となる50を下回っております。また、米国をはじめ主要先進国を中心とした金融引き締めにより、世界的な景気鈍化も懸念されております。こうした環境下、引き続き、中国景気の動向を注視してまいりたいと考えております。特に、ゼロコロナ政策の行方に着目してまいります。

以上

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.5%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.2%(税抜 2.0%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。

●その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。